立花生徒会新聞 Trefle通信

Trefle（テリーフル）の意味「調和」仲が良く全員が輝ける学校

第6号　平成30年6月27日　水曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

体育大会を終えて

前日の大雨が嘘のように晴れ渡った最高のコンディションの中、行われた体育大会でした。早朝よりグラウンドの整備、会場準備など運動部や専門委員のみなさんをはじめ、多くの人にご協力いただきました。ありがとうございました。予定より一時間遅れの開始でプログラムの変更などはありましたが、みなさんのご協力のおかげでスムーズに進めることができ、最高の体育大会にすることが出来ました。

一年学年競技「ハリケーン百八十五号」は五人一組で竹を持ち、コーンを回ります。元気いっぱいな一年生の姿を見ると、「午後も頑張ろう」と思えました。

二年学年競技「足は百でも心は一つ」はクラス全員で声を合わせ、協力してコーンの間を往復します。各クラス、かけ声が違い、とても見応えがありました。三年学年競技「騎馬戦！いざ出陣！！」は男女の団体戦と大将戦がありました。豪快に戦っている姿はまるで戦国時代の武士達のようでした。

そして、三年男女マスゲームではよさこいソーランと組体操を行いました。よさこいソーランは春休みから実行委員会を立ち上げ、実行委員中心に何時間も打ち合わせや練習を行い、三年生全員で創り上げました。よさこいソーランは四回の隊形移動があり、迫力のあるものだったと思います。また、組体操は最後の立体ピラミッドと五段タワーは成功するか不安でしたが、成功した瞬間の興奮は今でも忘れることはできません。

今年度は体育大会臨時時間割中、雨の日も多く外で練習する時間が少なくなってしまいました。ですが、クラスで一致団結し、良いものに出来たと思います。この経験を文化発表会や球技大会などの、これからの学校生活に活かしていけるよう頑張りましょう。一、二年生のみなさんは来年、再来年の体育大会で今年の反省を活かし、さらに良いものに出来るようにしましょう。

最後に、地域の方々や保護者のみなさん、暑い中たくさんのご声援ありがとうございました。

期末テスト

今月の二十日から二十二日までの三日間期末テストが行われました。一年生のみなさんにとっては、中学校に入学して初めての定期テストとなりましたが、手応えはあったでしょうか。初めてということもあり、テストに対する不安は大きかったと思います。ですが、今回のテストで中学校での定期テストがどのように行われるかが分かったと思います。なので、この期末テストを機に中学校での定期テストに慣れていけるようにしましょう。

また、三年生にとっては高校の進路に関わる大切なテストとなりましたが、毎日コツコツとテスト勉強をすることはできたでしょうか。よく、「今日は五時間勉強した」や「私は今日七時間塾に行った」などという会話を友達との間でする時はありませんか。もちろん、一日に多く勉強することは大事ですが、テスト前だけでなく、その日習ったことをもう一度ノートにまとめるなど毎日継続して授業の復習や宿題をしましょう。勉強において大切なのは、それをいかに継続できるかだと思います。なので、なかなかテスト勉強が手につかないという人は定期テスト二週間前や一ヶ月前からたった十分程度でもいいので、コツコツと勉強していきましょう。これは三年生だけではなく一、二年生にもあてはまるのではないでしょうか。

今回の期末テストでのテスト勉強を振り返って、もっと勉強しておけばよかったと思う人は、多くいたと思います。テスト一週間前という短期間の中で、自分の苦手な教科や単元を復習していてもそれが完全に定着しているとは限らないと思います。なので、今回の期末テストで勉強時間が足りなかったと思う人や苦手教科や単元をあまり復習できなかったという人は、毎日勉強をする習慣を身につけてみてはどうでしょうか。人それぞれ勉強法は違いますが、自分に合った勉強法でコツコツと努力を積み重ねていきましょう。

最後に、夏休み明けの八月二十八日、二十九日の二日間一、二年生は課題テストが三年生は実力テストが行われます。今回の期末テストでの反省を課題テストや実力テストで改善できるように頑張りましょう。

チャイム着席

今月の十一日から十九日までの間、チャイム着席週間が行われました。一年生のみなさんにとっては、初めてのチャイム着席週間でした。チャイム着席週間と聞いたときに「チャイム着席週間って何だろう」と思った人も多いと思います。チャイム着席週間とは自分で時計を見て、時間管理を出来ることを目指して行っている活動です。時間を守ることは、社会に出てもどこへ行っても大切なことです。時間に余裕をもって行動することで心に余裕を持つことができます。忙しいと、ついつい余裕がなくなってしまいます。また、余裕があると余計な心配をしなくてすみ、集中力を発揮しやすくなるそうです。

ところでこのチャイム着席週間の内容を見て「チャイム着席週間の間だけしっかり着席をすればいい」と思った人はいませんか。チャイム着席週間だけチャイムまでに着席をしていても、普段の生活に活かすことはできません。普段から時間を意識し、真剣に取り組むことでチャイム着席週間だけでなく、普段の学校生活でも時間をより有効に使うことができます。だからこそ普段から時間に余裕をもって行動することが大切です。「チャイムが鳴ってから着席しよう」と思っている人がいるかもしれませんが、チャイムが鳴ってから着席するのでは意味がありません。余裕をもって行動することを心がけましょう。みなさんは、休み時間に流れている音楽のことに気づいていますか。この音楽はチャイムが鳴る一分前に止まります。この音楽をしっかり聞いていれば、時間に余裕をもって着席することができます。ただチャイム着席週間の時だけチャイムまでに着席をするのではなく、時間に余裕をもって行動することを意識していきましょう。さらにチャイム着席週間以外にもノーチャイム着席週間という取り組みがあります。ノーチャイム着席週間はチャイム着席週間とは違い、チャイムが鳴りません。なのでこの取り組みを機に時間を有効に使えるよう、一人一人が時計を見て授業が始まる前に着席する習慣を身につけましょう。

総体に向けて

夏の総体まで残りわずかとなってきました。三年生はクラブ最後の試合となり、これまで積み重ねてきた努力の成果を発揮する場です。仲間や先輩、顧問の先生方と一緒に頑張ってきたことを忘れず、思いを一つに協力して試合に臨みましょう。

最後の大会となると、緊張して思い通りに行かないことが多くあると思います。そんな時は、今までのクラブ活動で努力してきたことを思い出しましょう。今までの努力を信じ、全力で取り組めば緊張もきっとなくなり、試合にさらに励むことが出来ます。また六月二十五日からクラブ強化週間が行われています。この一週間が終わると、ほとんどのクラブが総体を迎えます。この一週間で万全の状態で総体に挑めるよう、これまでの練習よりもさらに気合いを入れて頑張りましょう。

三年生はこれまでのクラブ活動の中で、楽しいことや嬉しいことだけでなく、つらいことや大変なこともあったと思います。日々の練習を乗り越えたからこそ得られるものもあったのではないでしょうか。三年間の締めくくりとなる試合でこれまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮してください。

また六月二十五日にクラブ壮行会が行われました。クラブ壮行会では、吹奏楽部から始まり、野球部、サッカー部、男子硬式テニス部、女子ソフトテニス部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、陸上競技部、水泳部の順に全校生徒に向け、決意表明を行ってもらいました。全校生徒に総体への気持ちを伝えたことで、たくさんの人が応援してくれると思います。また、その姿を見た後輩達にはこれからのクラブ活動の機動力となってきます。先輩たちの思いが伝われば、後輩たちも先輩達の思いを引き継ぎ、頑張れると思います。

三年生のみなさんは、一緒に頑張ってきた仲間と、同じ目標に向かって練習に取り組むのも残りわずかです。三年生最後の総体、クラブの思いを一つに精一杯頑張りましょう。

編集後記

五月二十四日発行の第五号に掲載しました記事「修学旅行」について、誤りがありましたので訂正させていただきます。「平和記念公園」ではなく「平和祈念公園」が正しい表記でした。申し訳ありませんでした。

夏の暑さも増してきたので、体調管理に気を付けて過ごしましょう。（藤田・山﨑・立小川・上杉）